

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●大江原圭騎手がJRA障害通算1000回騎乗を達成

7月26日(土)の3回中京1日・第1レースでスズノイナズマに騎乗した大江原圭騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上20人目・現役7人目となるJRA障害通算1000回騎乗を達成しました。

●第15回ジョッキーズベイビーズ北海道地区代表が決定

7月27日(日)、全国ポニー競馬選手権「第15回ジョッキーズベイビーズ」の北海道地区代表決定戦が浦河町のJRA日高育成牧場で実施され、八嶋駿吏さん(中学1年生)が同地区代表に決定しました。本年のジョッキーズベイビーズ地区代表決定戦・選考会は計7地区で実施され、各地区代表は10月12日(日)に東京競馬場で行われる決勝大会に出場することとなります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●リュウノフライトがリリーC(門別)を圧勝【各地の2歳重賞】

リリーC(7月23日、門別、1,000^円、牝馬)は、4番手から差を詰めた1番人気のリュウノフライト(父ホッコータルマエ)が直線半ばで抜け出して後続に5馬身差を付け、新馬戦から連勝しました。

●ソルジャーフィールドが北海道三冠を達成【各地の主要3歳重賞】

王冠賞(7月24日、門別、1,800^円)は、7番手から追いつけたソルジャーフィールド(牡、父ルヴァンスレーヴ)が直線に入って間もなく逃げ馬を捉え、単勝1.2倍の支持に応えて史上8頭目となる北海道三冠を達成。優勝スプリント(7月17日、大井、1,200^円)は、好発から2番手に控えた3番人気の北海道から大井への移籍馬ハーフブルー(牝、父サンダースノー)が、逃けた1番人気のリオンダリーナを直線で競り落とししました。やまびこ賞(7月20日、盛岡、1,800^円)は、北海道デビューから佐賀を経て岩手に転入した単勝1.2倍で圧倒的人気のサンロックンロール(牡、父トビーズコーナー)が、2番手追走から4コーナーで先頭に立って後続を8馬身引き離し重賞初制覇。特設競走の百万石かがやきナイター賞(7月27日、金沢、1,700^円)は、逃けた単勝1.2倍で1番人気のJRA出身(1勝=川崎の条件交流)のリトルサムシング(牡、父リアルスティール)が7馬身差の圧勝を収めています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1「キングジョージ」〜カラダガンがG1連勝

現地7月26日にイギリスのアスコット競馬場で行われたG1キングジョージVII世&クイーンエリザベスS(3歳上、芝2,390^m)はフランスから参戦のカラダガン(騾4歳、父グレンイーグルス)が5頭立ての最後方追走から直線で鋭く伸びて優勝しました。1馬身差の2着に昨年のG1英チャンピオンズフィリーズ&メアズSの勝ち馬カルパナ。ブリーダーズCターフ2勝を含むG1・7勝のレベルスロマンスが昨年と同じく3着。G1コロネーションCからの連勝を狙ったヤンプリュージュルが逃げて4着。2023年のG1英セントレジャー勝ち馬コンティニューアス(父ハーツクライ)は最下位でした。

勝ったカラダガンは英2000ギニーを含むG1・4勝を挙げたグレンイーグルスの産駒。昨年は4月のG3ノアイユ賞(芝2,100^m)、5月のG3オカール賞(芝2,200^m)、6月のG2キングエドワードVII世S(芝2,390^m)と重賞3連勝。その後は英インターナショナルS、英チャンピオンS、ドバイシーマクラシック、コロネーションCとG1で4戦続けて2着でしたが、前走のG1サンクルー大賞(芝2,400^m)で待望のG1初制覇を果たしていました。鞍上のM.バルザローナ騎手はこのレース初制覇。管理するF.グラファール調教師は昨年のゴリアットに続く連覇で2勝目です。

